

令和5年度 第1回「みやぎスマイルビーチ・プログラム」
清掃活動ボランティア結果について

(回胴遊商東北支部との合同活動)

開催日時 : 令和6年3月5日(火) 午前10時30分～
会 場 : 宮城県名取市 閑上海岸
参加者 : 東北遊商6名、回胴遊商東北支部5名、フェイム誌友道氏
(合計12名)

令和6年3月5日(火)、回胴遊商東北支部様との合同会議に先立ち、午前10時30分から宮城県名取市閑上海岸において、初めての取り組みである「みやぎスマイルビーチ・プログラム清掃活動」を行いました。

合同会議参加者のみということもあり、回胴遊商からは5名、当組合からは6名と少数でしたが有意義に活動ができ、今後の活動に関する確認なども行いました。

今後、年2回程度、合同での活動を継続していく予定です。

「名取市閑上海岸」



写真提供：ほくとう通信（フェイム） 友道様



□記事提供：ほくとう通信「フェイム」

回胴遊商東北支部と合同会議 今期活動の総括と次年度の合同活動ほかを協議

3月5日、東北遊商は、理事長、機械流通・社会貢献の両委員長、副委員長が仙台市青葉区の回胴式遊技機商業協同組合・東北支部(回胴東北、鈴木正浩支部長)において合同会議に出席しました。会議には両組合からそれぞれ5名が出席。回胴東北・佐々木斉副理事長の進行で ①広瀬川流域の清掃活動の総括 ②来年度の合同

活動 ③中古機流通事業に関する意見交換等について協議・意見交換をしました。

中でも、昨年9月に実施した『広瀬川11万人プロジェクト』一斉清掃活動の総括では、今年度より活動場所を広瀬川河口の仙台市荒浜海岸に移したことから、「清掃場所を変えたことで気持ちも新たに活動できた」、「家族や社

員の参加も全く問題ないので、多くの人に声をかけてほしい」、「懇親会会場も適当であったことから参加しやすかったのだろう、多くの出席者があったことは大成功だった。」などの総括意見が出ました。

また、来年度における活動計画では、引き続き『広瀬川11万人プロジェクト』



一斉清掃は続けて行くほか、今年度より実施している『スマイルビーチ・プログラム』清掃活動も日時は今後協議して実施することを申し合わせました。

『スマイルビーチ・プログラム』清掃活動 回胴遊商東北支部と合同で閑上海岸を清掃

東北遊商・高橋理事長はじめ回胴遊商との合同会議出席者5名と事務局員1名は3月5日、『みやぎスマイルビーチ・プログラム』活動として回胴遊商東北支部の代表者5名とともに、宮城県名取市の閑上海岸で清掃活動を実施しました。

今回が初めての活動であるため、両組合から役職者が参加しました。午前10時、閑上海岸サイクルスポーツセンター前から南側の砂浜約100m区域でペットボトルや空缶、流木、ビニール類、廃棄食品類等のゴミ・廃品を回収しました。

社会貢献委員会・杉本委員長は、「初めての活動なので、要領を確認しながら行いました。周囲を見渡すと、手つかずの状況がよくわかります。今後、定期的に活動するためにも、両組合



で計画的な取組み要領等、話し合っていきたい」と感想を述べました。

■『みやぎスマイルビーチ・プログラム』とは
宮城県土木事務所が管理する公共海岸での清掃美化活動の総称。良好な海岸環境づくりに積極的なボランティア団体をスマイルサポーターとして県が認定し活動を後押しすることで、官民協力の体制づくりをするもの。